

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (服飾・家政)	ファッションビジネス科	夜・通信	990	160	
	ファッションデザイン科	夜・通信	1830	240	
	トータルビューティー科	夜・通信	990	160	
専門課程 (文化・教養)	グラフィックデザイン科	夜・通信	3300	240	
	CGデザイン科	夜・通信	1170	240	
	プロダクトデザイン科	夜・通信	960	240	
	インテリア・空間デザイン科 (インテリアデザイン科)	夜・通信	1020	240	
	フラワーデザイン科	夜・通信	1050	160	
専門課程 (衛生)	美容科	夜・通信	1710	160	
	ヘアメイク科	夜・通信	1710	160	
(備考) インテリアデザイン科：2024年度インテリア・空間デザイン科へ科名変更 CGデザイン科：2024年度新設 第1・2学年のみ在籍					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

静岡デザイン専門学校 ホームページ https://www.sdc.ac.jp/school_info/public
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人静岡理工科大学のホームページ (<https://sist-net.ac.jp/information/>) にて「役員名簿」を公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	物流等関連企業 代表取締役社長	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	建設会社 監査役	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	金融機関 顧問	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	経済研究機関 専務理事	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
非常勤	物流等関連企業 取締役	令和7年6月12日～2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで	学校法人運営についての意見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業計画(シラバス)の作成過程及び公表について 12月 ～ 次年度授業計画の策定 1月 ～ 担当教員への授業計画(シラバス)作成依頼 ・授業計画(シラバス)テンプレート配布 ・授業計画(シラバス)ガイドライン配布 2月 ～ 授業計画(シラバス)回収・チェック 3月 ～ 授業計画(シラバス)訂正・公表準備 4月 ～ 授業計画(シラバス)公表	
授業計画書の公表方法	静岡デザイン専門学校 ホームページ https://www.sdc.ac.jp/school_info/public
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各学科の定めるディプロマポリシー（卒業認定／専門士授与の方針）に掲げる資質・能力の習得状況等は、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）の「成績評価の方法」に掲げる方法に加え、学生生活上の客観的な指導、卒業対象学生を行うアンケート調査の状況、各種資格取得状況・制作した作品のレベルと志望進路状況（専門領域への就職率及び進学率等）から学修成果の達成状況を評価する。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可及び59点以下は不合格となり単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均を成績評価指標とする。成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数＝((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

静岡デザイン専門学校 ホームページ
https://www.sdc.ac.jp/school_info/public

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。

■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。

■社会人基礎力を身につけている。

また、以下の条件を満たしていなければならない。

■必須科目の成績評価に不可が無いこと。

■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。

■学納金が未納でないこと。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

全校共通および各学科のディプロマポリシーの定める基準に達しており、全ての科目を修得(不可科目がないこと)した者に卒業を認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

静岡デザイン専門学校 ホームページ

https://www.sdc.ac.jp/school_info/public

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	静岡デザイン専門学校
設置者名	学校法人 静岡理工科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	静岡理工科大学グループ ホームページ https://sist-net.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士					
服飾・家政		専門課程		ファッションビジネス科		○							
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類									
				講義		演習		実習		実験		実技	
2 年	昼	1980 単位時間／単位		330		1110		540		単位時間 /単位		単位時間 /単位	
				1980 単位時間／単位									
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数			
60 人		51 人		0 人		4 人		22 人		26 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12月 ～ 次年度授業計画の策定 1月 ～ 担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2月 ～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 3月 ～ 授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4月 ～ 授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績表は、科目ごと4段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント

優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数= ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

卒業・進級の認定基準

(概要)

本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。
- キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。
- 社会人基礎力を身につけている。

また、以下の条件を満たしていなければならない。

- 必須科目の成績評価に不可が無いこと。
- 年間出席時限数が年間消化時間の 85%以上であること。
- 学納金が未納でないこと。

本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

学修支援等

(概要)

- ・個別指導の実施
- ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34 人 (100%)	0 人 (0 %)	34 人 (100%)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
ファッションアドバイザー、スタイリスト、ファッション企画			
(就職指導内容)			
・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・ファッションビジネス検定 3 級 ・AFT 色彩能力検定 3 級 ・パーソナルカラー検定中級、上級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73 人	5 人	6.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2970 単位時間／単位	480	510	1980	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			2970 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		59 人	0 人	5 人	19 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12 月 ～ 次年度授業計画の策定 1 月 ～ 担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・ 授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・ 授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2 月 ～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 3 月 ～ 授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4 月 ～ 授業計画（シラバス）公表																							
成績評価の基準・方法																							
（概要） 成績表は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可および 59 点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th><th>素点</th><th>意味</th><th>ポイント</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td><td>80～100 点</td><td>到達目標をほぼ達成している。</td><td>4</td></tr> <tr> <td>良</td><td>70～79 点</td><td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td><td>2</td></tr> <tr> <td>可</td><td>60～69 点</td><td>到達目標の最低限は満たしている。</td><td>1</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>0～59 点</td><td>到達目標を充足していない。</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	評語	素点	意味	ポイント	優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0	
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0																				
成績評価指数= ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数																							
卒業・進級の認定基準																							
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の 85%以上であること。																							

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8 人 (100%)	0 人 (0 %)	8 人 (100 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) パタンナー、縫製、ファッションアドバイザー、舞台技術者			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・パターンメイキング技術検定 2 級、3 級 ・洋裁技術検定 ・AFT 色彩能力検定 2 級、3 級 ・専修学校専門課程准教員認定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	6 人	10.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政		専門課程		トータルビューティーク		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	1920 単位時間／単位	360	330	1230	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位		
			1920 単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		63 人	0 人	4 人		21 人		25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2月～授業計画（シラバス）回収・チェック 3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4月～授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績表は、科目ごと４段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、４段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝（（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数））÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。			

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27 人 (100%)	0 人 (0 %)	27 人 (100 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) ブライダルコーディネーター、ビューティーアドバイザー、ネイルアーティスト ヘアメイクアーティスト、エステティシャン			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・JMA 日本メイクアップ技術検定、化粧品成分検定、ネイリスト技能検定、ジェルネイル技術検定、きもの講師資格、サービス接遇検定、色彩検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	2 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 精神的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程		グラフィックデザイン科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2940 単位時間／単位		540	2100	300	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
				2940 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
180 人		240 人	2 人		6 人		36 人		42 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について

12 月 ～ 次年度授業計画の策定

1 月 ～ 担当教員 への授業計画（シラバス）作成依頼

・ 授業計画（シラバス）テンプレート配布

・ 授業計画（シラバス）ガイドライン配布

2 月 ～ 授業計画（シラバス）回収・チェック

3 月 ～ 授業計画（シラバス）訂正・公表準備

4 月 ～ 授業計画（シラバス）公表

成績評価の基準・方法

（概要）

成績表は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可および 59 点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。

成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。

評語	素点	意味	ポイント
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0

成績評価指数= ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数

卒業・進級の認定基準

（概要）

本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。

■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。

■社会人基礎力を身につけている。

また、以下の条件を満たしていなければならない。

■必須科目の成績評価に不可が無いこと。

■年間出席時限数が年間消化時間の 85%以上であること。

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
72 人 (100%)	0 人 (0 %)	72 人 (100 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等) 広告代理店、広告関連企業、Web 制作会社、印刷会社、デザイン事務所、 デザイン制作会社、写真スタジオ、映像制作会社、ホビー			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
256 人	12 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由、経済的理由、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	CG デザイン科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2880 単位時間／単位	390	2490	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
					2880 単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
100 人		140 人	0 人	3 人		10 人		13 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2月～授業計画（シラバス）回収・チェック 3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4月～授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績表は、科目ごと４段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、４段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝（（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数））÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。			

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定、CG クリエイター検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	5 人	5.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	プロダクトデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2940 単位時間／単位	330	1800	810	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		18 人	0 人	6 人	19 人	25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2月～授業計画（シラバス）回収・チェック 3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4月～授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績表は、科目ごと４段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、４段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝（（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数））÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。			

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (0 %)	15 人 (93.8%)	1 人 (6.3%)
(主な就職、業界等) プロダクトデザイナー、家具デザイナー、設計・CAD、アクセサリパーツ製造			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定、レタリング検定、3次元 CAD 利用技術者試験、ビジネスマナー検定、JIDA デザイン検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	3 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。 ■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0 %)	20人 (100 %)	0人 (0 %)
(主な就職、業界等) インテリアコーディネーター、エクステリアデザイナー、空間デザイナー、設計・CAD Web デザイナー			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) インテリアコーディネーター試験、色彩検定、建築 CAD 検定、ビジネスマナー検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	8人	11.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、精神的理由、経済的理由、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	フラワーデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1950 単位時間／単位	420	1140	390	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			1950 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		35 人	0 人	4 人	25 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																							
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12 月 ～ 次年度授業計画の策定 1 月 ～ 担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・ 授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・ 授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2 月 ～ 授業計画（シラバス）回収・チェック 3 月 ～ 授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4 月 ～ 授業計画（シラバス）公表																							
成績評価の基準・方法																							
（概要） 成績表は、科目ごと 4 段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100 点）による評価で表す。不可および 59 点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、4 段階評価の評語で表示される。																							
		<table> <tr> <th>評語</th><th>素点</th><th>意味</th><th>ポイント</th></tr> <tr> <td>優</td><td>80～100 点</td><td>到達目標をほぼ達成している。</td><td>4</td></tr> <tr> <td>良</td><td>70～79 点</td><td>不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。</td><td>2</td></tr> <tr> <td>可</td><td>60～69 点</td><td>到達目標の最低限は満たしている。</td><td>1</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>0～59 点</td><td>到達目標を充足していない。</td><td>0</td></tr> </table>	評語	素点	意味	ポイント	優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4	良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2	可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1	不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0	
評語	素点	意味	ポイント																				
優	80～100 点	到達目標をほぼ達成している。	4																				
良	70～79 点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2																				
可	60～69 点	到達目標の最低限は満たしている。	1																				
不可	0～59 点	到達目標を充足していない。	0																				
成績評価指数= ((4×優の科目数)+(2×良の科目数)+(1×可の科目数))÷科目数																							
卒業・進級の認定基準																							
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の 85%以上であること。																							

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	0 人 (0 %)	18 人 (94.7 %)	1 人 (5.3%)
(主な就職、業界等) フローリスト、グリーンアドバイザー			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）) フラワー装飾技能士、色彩検定、ブライダルコーディネーター検定、 商業ラッピング検定、サービス接客検定、色彩技能パーソナルカラー検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	2 人	5.4%
(中途退学の主な理由) 精神的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士					
衛生		専門課程		美容科		○							
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類									
				講義		演習		実習		実験		実技	
2 年	昼	2010 単位時間／単位		870		1140				単位時間 ／単位		単位時間 ／単位	
				2010 単位時間／単位									
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数			
60 人		53 人		0 人		5 人		14 人		19 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2月～授業計画（シラバス）回収・チェック 3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4月～授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績表は、科目ごと４段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、４段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝（（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数））÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。			

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	2 人	8.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		専門課程	ヘアメイク科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2010 単位時間／単位	870	1140	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			2010 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
60 人		62 人	人	5 人	14 人		19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 授業計画（シラバス）の作成過程及び公表について 12月～次年度授業計画の策定 1月～担当教員への授業計画（シラバス）作成依頼 ・授業計画（シラバス）テンプレート配布 ・授業計画（シラバス）ガイドライン配布 2月～授業計画（シラバス）回収・チェック 3月～授業計画（シラバス）訂正・公表準備 4月～授業計画（シラバス）公表			
成績評価の基準・方法			
（概要） 成績表は、科目ごと４段階評語（優・良・可・不可）、素点（0～100点）による評価で表す。不可および59点以下は不合格となり、単位を修得できない。また、成績評価をポイントに変換し、その総和の平均値を成績評価指標とする。 成績証明書は、４段階評価の評語で表示される。			
評語	素点	意味	ポイント
優	80～100点	到達目標をほぼ達成している。	4
良	70～79点	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している。	2
可	60～69点	到達目標の最低限は満たしている。	1
不可	0～59点	到達目標を充足していない。	0
成績評価指数＝（（4×優の科目数）+（2×良の科目数）+（1×可の科目数））÷科目数			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 本校を卒業する人材は、学則にある「教育基本法に則り、学校教育法に従い、服装並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成する」ことが教育目的であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。 ■専門分野についての基本的な技術・知識を有し、社会のその分野の中で活用することができる。 ■キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。 ■社会人基礎力を身につけている。 また、以下の条件を満たしていなければならない。 ■必須科目の成績評価に不可が無いこと。 ■年間出席時限数が年間消化時間の85%以上であること。			

■学納金が未納でないこと。 本校のディプロマポリシーに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。
学修支援等
(概要) ・個別指導の実施 ・補習、再テスト等の実施による習熟度向上対策の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) ・それぞれの適正を見極め、企業とのマッチングを行う。 ・身だしなみ講座実施、面接指導、履歴書指導、インターンシップのフォロー			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	2 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・休んだ当日に本人もしくは自宅に連絡し、状況を把握する。 ・日頃からの声掛け、定期的な面談を行い、学生の変化の早期発見に努めている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ファッションビジネス科	220,000 円	940,000 円	円	
ファッションデザイン科	220,000 円	940,000 円	円	
トータルビューティー科	220,000 円	940,000 円	円	
グラフィックデザイン科	220,000 円	1,010,000 円	円	
C Gデザイン科	220,000 円	1,010,000 円	円	
プロダクトデザイン科	220,000 円	1,010,000 円	円	
インテリア・空間デザイン科	220,000 円	1,010,000 円	円	
フラワーデザイン科	220,000 円	940,000 円	円	
美容科	220,000 円	940,000 円	円	
ヘアメイク科	220,000 円	940,000 円	円	
修学支援（任意記載事項）				
本校では人物、学力に優れ、他の模範となるであろうと認められる者に対し、学費を優遇する特待生制度がある。本校の行う特待生入試の試験結果に基づき特待生・準特待生 A・準特待生 B・準特待生 C を認定する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school_info/public		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
・ 自校の教育活動や自己評価結果について、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校運営の改善、教育力の向上に資することを目的とする。 ・ 定例の学校関係者評価委員会を開催。学内委員より自己評価結果及び改善策を説明し、学外委員の評価を受けた後、結果を取りまとめて公表する。 ・ 主な評価項目 (1)教育理念・目標 (2)教育活動 (3)教育成果 (4)学生支援 (5)教育環境 (6)学生の募集と受入れ (7)教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守 (8)社会貢献・地域貢献、国際交流 ・ 評価委員会の構成 定員：6 名（企業：3 名 卒業生：1 名 保護者：1 名 地域住民：1 名） ・ 評価結果の活用方法 評価結果について、校長（責任者）を中心とした運営委員会で改善方策を検討し、可能な範囲で可能な限り早期に改善を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
静岡デザイン専門学校 後援会	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	保護者
デザイン事務所	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	卒業生
百貨店	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	関係業界

デザイン事務所	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	関係業界
デザイン事務所	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	関係業界
花き業界	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	関係業界
美容業界	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	関係業界
伝馬町発展会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	近隣住民
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school_info/public		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sdc.ac.jp/school_info/public
--